

令和元年度 旭川市農業センター試験課題等一覧
 <農業センター圃場試験>

No.	課題名	年次	作型			試験の概要	関係先等
			播種	定植	調査・収穫		
1	トルコギキョウ早期出荷可能性検討試験	H30～	1/7	3/26	7月上旬～7月下旬	市内産のトルコギキョウは8月以降に出荷ピークとなるが、市場動向としては7月が高単価となる。そこで、7月の出荷を可能とする無加温で早期開花させる栽培方法を検討する。 <供試品種：リック初代他 全2品種>	旭川青果物生産出荷協議会花卉部会
2	スターチス・シヌアータの品種比較試験	新規	— (提供苗)	5月中旬	7月下旬～10月下旬	これまで需要が最も多い紫系を中心に品種比較試験を行ってきたが、H31は生産者部会の要望に基づきピンク系を中心にした品種比較を行う。また、紫系品種の簡易調査も実施する。 <供試品種：アイソニック他 ピンク系全7品種>	旭川青果物生産出荷協議会花卉部会
3	パセリの新規薬剤導入検討試験	新規	2/4	5月上旬	6月中旬～	H30のパセリ栽培でうどんこ病が多発したことから、生産者部会では防除体系に新規薬剤の導入を検討している。検討中の薬剤は薬害発生の懸念もあることから、薬害の有無を中心に調査する。 <試験薬剤：3剤><供試品種：グラントパセリ>	旭川青果物生産出荷協議会パセリ部会
4	ミニトマト新系統「C7-276」の特性調査	新規	3/11	5月上旬	7月上旬～	ミニトマト部会の基幹品種「SC6-008」は良食味だが、異形株が多いことが課題となっている。このたび、この課題をクリアしたとされる良食味の新系統「C7-276」が開発されたため、「SC6-008」との比較により特性を調査し、当地への導入の適否を検証する。	旭川青果物生産出荷協議会ミニトマト部会
参考1	ミニトマト「純あま」の品種特性調査	H30～	〃	〃	〃	J A東旭川の生産者が契約栽培で取り組むミニトマト「純あま」は良食味で需要が多いものの、栽培面での課題がある。H30の栽培調査では課題が残されたため、H31も調査を継続する。	J A東旭川サントリーフラワーズ
5	短節間カボチャ「おいとけ栗たん」の品種特性調査	新規	6月上旬	6月中旬	9月	J Aあさひかわでは主に大豆の輪作作物として、初期投資を抑え省力栽培が可能な露地野菜を模索している。この目的への合致が期待できるカボチャ新品種「おいとけ栗たん」が市販されたことから、慣行栽培(えびす)との比較により省力性や市場適性等について調査する。	J Aあさひかわ
6	雪の下ニンジン	H30～	6月下旬	-	11月上中旬以後、 適宜品質調査	市内では一部生産者が取り組んでおり、越冬適性が優れる品種の報告が他機関からあったことを受け、H30に試験を実施した。だが、記録的大雨で欠株が多発したことから、精度の高いデータを得るため再試験を行う。 <供試品種：紅あかり他 全3品種>	雪の下ニンジン生産者
7	冬季の小カブ栽培における移植適期検討試験	H30～	9月上旬から10月上旬の間に5回	各播種日の約2週間後	11月中旬～	過去の冬季栽培試験等で栽培適性があると見込まれる小カブについて、圃場使用時期の後退を目的とした移植栽培を行うにあたり、適切な播種・定植時期を模索する。H30からの継続による年次間反復調査とする。 <供試品種：ゆきわらし>	冬期栽培に取り組む又は関心を示す生産者
8	寒締めホウレンソウ栽培におけるマルチ資材の比較試験	H30～	9月中旬	9月末	11月中旬～1月下旬	市内で主流の移植栽培では主に銀ネズマルチを用いているが、圃場によっては雑草の繁茂が課題である。そこで、抑草効果が期待できる有色マルチでの生育状況を調査する。H30からの継続による年次間反復調査とする。 <供試品種：冬霧7>	寒締めホウレンソウ生産者
参考2	寒締め栽培におけるホウレンソウの品種特性調査	H30～	〃	〃	〃	基幹品種「冬霧7」に喫緊の課題は生じていないが、他にも寒締め栽培に向くとされる市販品種があり、新規系統の開発に関する情報もあることから、これらを試作し、品種特性を調査する。 <供試品種：冬霧7ほか 全6品種程度>	寒締めホウレンソウ生産者
9	土壌施用剤使用後の後作物残留試験	新規	①5月下旬 ②9月上旬	-	①6月下旬 ②10月上旬	市内の栽培体系は輪作頻度が高く、多品目にわたることから、土壌施用型農薬のほ場における残留について試験を行い、輪作時における後作への農薬残留を調査する。	旭川青果物生産出荷協議会

令和元年度 旭川市農業センター試験課題等一覧
 <現地圃場試験>

No.	課題名	年次	作型			試験の概要	関係先等
			播種	定植	調査・収穫		
現地1	春どりレタスの現地適応性試験	新規	1/7	3月上旬	4月中旬	H27から基幹品種「サリナス397」の代替品種を模索してきたが、当地への適性が明確にこれを上回る品種は無かった。その中で「エムラップ231」は基幹品種に近い特性が圃場試験で確認されたことから、H31は生産者圃場で「エムラップ231」を試作し、現地適応性について調査する。	旭川青果物生産出荷協議会レタス部会
現地2	市営牧場におけるカボチャ栽培試験	H30～	6月上旬	6月中旬	9月	農政部農業振興課農畜産係の所管事業における江丹別市営牧場でのカボチャの栽培試験において、栽培上の技術的な助言等を行う。	農業振興課農畜産係
現地3	トルコギキョウの栽培実態現地調査	新規	—	—	—	近年、出荷物の品質のばらつきが市場から指摘されているトルコギキョウについて、共通品種の栽培を通じてその要因を追求し、得られた結果を基に各生産者圃場に適した栽培技術を模索し、産地としての品質の平準化を図る。 <供試品種：ボンボヤージュシルクほか 全3品種程度>	旭川青果物生産出荷協議会花卉部会
現地4	冬季野菜現地試験	H30～	9月頃	9月下旬	11月以降	旭川市農政部では冬季の野菜栽培振興に努めており、当センターで無加温栽培が可能とされた品目について、農業振興課が普及振興策を講じている。その一環でH30に続き生産者圃場での実証栽培試験を行い、当センターは生産者への技術支援及び生育等の調査を担当する。	・旭川市農政部農業振興課園芸係 ・冬季栽培に取り組む又は関心を示す生産者

<展示栽培>

No.	課題名	年次	作型			試験の概要	関係先等
			播種	定植	収穫		
展示1	冬季栽培展示	H29～	主に9月上～中旬	主に9月下旬	主に11月下～	①継続栽培品目：ワビナ, コマツナ, リーフレタス ②現場有望品目：ケールほか ③新規挑戦品目：未定	冬季栽培に取り組む生産者
展示2	雪中貯蔵ブロッコリーの試作	新規	7月中旬	8月上旬(盆前)	11月上旬収穫後に雪中貯蔵	雪中貯蔵キャベツとほぼ同様の要領でブロッコリーも雪中貯蔵が可能との情報があることから、H31は展示試作として取り組む。	冬季栽培に取り組む生産者
展示3	大玉トマトの栽培展示	新規	3/11	5月上旬	7月上旬	・加温促成の「桃太郎8」「桃太郎セレクト」は「桃太郎ネクスト」「桃太郎ワンダー」へ切り替え ・抑制は「麗月」	旭川青果物生産出荷協議会トマト部会